

# 日野・子どもと本の出会いの会



2年に及ぶコロナ禍の脅威の中をどう過ごしてきたか

—講演会も本まつりもできない物語—

日野・子どもと本の出会いの会

これは困った！

2020（令和2）年5月、画家・絵本作家・鳥の巣研究家の鈴木まもるさんの講演会を予定し準備を進めてきました。その直前の2月にはコロナ禍が迫る中、町田での講演会に下見を兼ねて参加して大いに楽しみ、企画に確信をもちました。しかし！その後コロナ禍は急速に広がり、3月には極めて残念なことに、講演会中止を決断せざるを得ませんでした。その旨鈴木まもるさんに連絡すると「コロナ禍だからしょうがない～」と。すでにあちこちの企画も中止したとのことでした。その場で次の年度の予約もしたのですが・・・繰り返すコロナの波のため早々と2021年も中止とし、この話は一旦中断。ギリシャ文字では足りそうもない変異株の出現に2022年春の講演会も秋の子どもの本まつりも見送り、今後の情勢を見ながら実現の機会をうかがっているところです。

ひたすら前へ！

ではこの間、本会はどうしてきたのか。2年続きで定例会や定期総会、子どもの本まつりなどを中止する困難の中にあっても知識や技術の空白を作ってはならないと、おはなし会に適した本の情報を持ち寄ってプログラムの配列を研究したり、

密や接触を避けてできる工作の研究をしたりと、活動の柱であるイベントの再開に備えてきました。また、今日的な課題を扱っている本を1冊決めての「読書会」で作品世界を深めたりして一時も無駄なく過ごしてきました。来年の秋、この実力を発揮する機会が来ることを願ってやみません。

## 設立30周年を目指して

そして2023年は本会設立30周年を迎えます。市民対象の記念すべき活動ができるようコロナの収束を祈るばかりです。本会の目的は広く市民に向けて「子どもに本のよろこびを！」と活動することです。電子機器に負けない「本」の魅力を発信し続ける一つの節目にしたいものです。

## おすすめ！鈴木まもるワールド

ところで、講演会に備えて鈴木まもるさんについて研究すると驚くことばかり。3百点にせまる著作があるほか、コロナ禍にあっても次々と新作を発表していて、そのバイタリティーに圧倒されます。その上フレンドリーなお人柄。会の意思が纏まればなるべく早い機会に講演会を実現し、多くの人々に鈴木まもるワールドを体験してほしいと願っています。

(文責・小島)

